



特定非営利活動法人 なんとなくのひろば 通信

URL <http://www.nantonakuno.net/>

Mail info@nantonakuno.net

ボランティアフェスタと 川むしたんけん



これから川むし探しにとりかかるところ。気温19℃、水温16℃。

■ 日光ボランティア・市民活動フェスタ2024

10月12日(土) 10:30~15:30

日光市中央公民館/今市文化会館で開かれた市民活動フェスタ。3月開催の前回と同様、中ホールでのパネル展示に参加しました。テーブルには小型ボードPC「マイクロ:ビット」を使ったロボット操作体験とArduinoプログラム体験を準備しました。前者は小学生くらいの子が興味を持ってくれたようで、じっくり操縦に取り組む子もいました。後者はすこし年上から大人を対象に、プログラムを作り、機械語に変換し、ボードPCへ転送して動作を確認するという過程を体験できる開発システム一式を準備したのですが、残念ながら操作希望者は現れませんでした。「フェスティバル」という場にはちょっと合わなかったかも。子どもの居場所のチラシと通信前号を来場者に配布しました。



「今市の水を守る市民の会」の協力をいただき、県北・県西地域を流れる川の地図を展示。26日に開催予定の「川むしたんけん」のチラシも配布しました。ホールのステージでは音楽サークルの発表や活動報告、日光仮面や山岳戦士オクニッコマンも登場。終日にぎわいました。

(福田、手塚)

■ 川むしたんけん 10月26日(土) 9:30~11:30

行川(なめがわ)は今市の西に見える鳴虫山から始まり、鹿沼で黒川に合流する川です。今回はその流れの中間あたり、明神地区の中井橋近くを会場としました。もともと入りやすい川なのですが、春に比べ水量の多いこの時期は場所選びが難しい。「今市の水を守る市民の会」の塚崎さんの案内で数か所を検討し、やっと採取場所が決まりました。最近では河原に降りる人も少ないのでしょうか。高齢化で草刈りも途絶えがちだとか…伸び放題の柳や草をかき分け、小学生も何とか活動できるよう前週に河岸を整備。当日は10人の参加者がみんなで川に入りました。子どもたちが虫集めに熱中。おかげで、数も種類も豊富。トンボのヤゴもたくさんみつけられました。最後に塚崎さんが集めた虫を整理し「きれいな水」と判定しました。(T)



子育て・親育ちの茶話会

場所：子どもの居場所（日光市今市316-4）

日時：毎月 第2月曜日（午前10時~12時）

次回の予定は電話でお問い合わせください。

参加費：300円（お茶代）

同じ悩みを持つ親御さん同士、気持ちを許し合って、情報や悩みを分かち合いましょう。「一人で悩まず、みんなで！」を合い言葉に。
(Tel : 090-3227-7079)

目次

ボラフェス&川むしたんけん	1
落下運動の加速度を測る	2
「県立高校再編」に関心を	3
活動報告	3
こんな本はいかが・67	4



居場所のひとこま

水曜日の居場所は、お茶の間談話スペースで歌声が流れていることが多いです。やっと猛暑の日々が過ぎ、気になるのはクリスマス会。少し早すぎるかなあ…と言いながらも準備を始めました。いつものクリスマス・ソング、ジングルベルなどの名曲に加え定番のB'zのあの曲など…。

「g」を測る

「速さ」*1 は自動車のスピードメーターや、野球の投手の球速、打球の速さなど、ふだんの生活で接する数値です。どれだけの距離をどれだけの時間で移動したかを調べ、距離を時間で割り算すれば「速さ」がわかります。10メートルを5秒間で移動したとすれば10を5で割って1秒あたり2メートルだから「速さは2m/秒」といった具合ですが、ここには「速さは一定とする」という約束があります。

「速さ」は小学校高学年で出てくる内容です。授業中に「あれ、自動車の速度計はいつも変わるし…どうなのかなあ」と考え込んでしまう子はいないのかなと心配になったりしますが、発進する自動車や落下運動など速さが変わる運動はもう少しあとでということになっています。

中学3年の理科では、斜面を転がる台車の運動や落下運動を勉強します。この「だんだん早くなる運動」の測定をやることにしました。同じペースで歩く「速さ」のような運動は「距離÷時間」でOKなのですが、速さが変化している場合は少し複雑になります。そんな運動の測定によく使われるのが、「記録タイマー」と呼ばれている道具です。台車などに取り付けられた紙テープに、決まった時間間隔で「点」を打つことで移動位置を記録する装置です。学校向け教材として売っているものもあるのですが、できれば

自作してみたい。ネット検索してみたら福島大学のページに「交流記録タイマー」*2の製作レポートが見つかりました。古い記事ですが面白そう。さっそく作ってみることにしました。(左図)

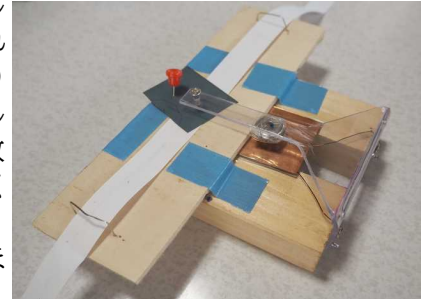
商用交流電流を電磁石に流せば、N極S極が1秒間に50回入れかわる磁石が作れます*3。永久磁石を貼り付けた振動板を近くに置けば、その振動板は時間間隔50分の1秒(0.02秒)周期で振動します。この現象を使い0.02秒の間に移動した距離を測ることができるのです。

まず厚手の板を切り、装置の台を作りました。電磁石は直径5ミリのボルトにホルマル線を巻き、両端を銅板でおさえて完成。「2mm厚の塩ビ板」と指定の振動板はカンセキで探し、あわせてプラスチックカッターも購入。切断はなんとかクリアしたけれど、図のように90度曲げるのは難しそう。どうしようかと考えているうち、塩ビは温めると成型できることに気がきました。ガスレンジにそとがざして机の角にあて、うまく曲げることができました。振動板に固定する永久磁石はネオジム磁石を見つけました。

これでタイマー本体はできあがりでしたが、足りないものがいくつかあります。ひとつは紙テープに位置ドットを打つための「カーボン紙」。これは近くのS荒物屋さんで電話したら「ありますよ」と。さっそく買いに行きました。カーボン紙を適当サイズに切り、ピンでとめ、その下に紙テープをセット。振動板に付いた木ねじがカーボン紙を叩き、動いていく紙テープに「点」が残ります。

もうひとつ、足りないものは、100ボルトの交流電圧を低電圧に変えるための道具、「スライダック」です。タイマーの電磁石コイルにコンセントからの電源を直接つなげば、コ

イルはあっという間に発熱し、やけどや火事につながります。100ボルトはこの実験には強すぎるのです。低電圧にで変えるスライダックがどこかにあったはずと、物置を探しNさんが寄贈してくれた貴重品(右写真上)を見つけました。ためしにつないでみたら、数ボルトで振動板が動くことが確認できました。(それでも電磁石はほんのりと発熱します)



まず「記録タイマー」をテーブルに置き、テープに重りを付けてテストしてみました。横軸は時間(秒)、縦軸は速さ(メートル毎秒)です。落下する重りはだんだん速くなり、テープに打たれた点の間隔は広がっていきます。かすれて見えない点があったりで、間隔の測定はひとつおき(時間間隔は0.04秒)としました。結果は[図A]をご覧ください。0.04秒あたり約0.29m/秒増え、時間に比例して速くなっています。データ点にあわせて引いた、速さの増加を示す直線の傾きは7.1。うまくいったように見えるけど予想より小さい。重りにかかる力を滑車で横向きにしてブレーキがかかってしまったのかもしれないと、タイマーを垂直に固定してみました[図B]。こちらの場合は9.5でした*4。

この1秒あたりどれだけ速くなるかをあらわす数値を「加速度」といいます。地表で、自然に落下する物体の加速度をもう少ししっかり測ると9.8m/秒²、「重力」を意味する「gravity」の頭文字を取って「g」と書くことがあります。

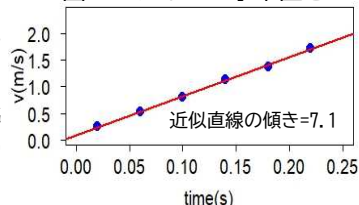
このようにして、手作りの装置で「g」を測定し、重力加速度の測定結果 9.5m/秒²を得ました。電磁石にかかる電圧や紙の位置など、いくつかの工夫がありました。交流電圧はハンマーがカーボン紙を打つ強さに影響し、強すぎるとテープの動きを一瞬抑えてしまうらしいこともわかりました。製作レポートに「スライダックは調整後に固定し、電源スイッチでON/OFFする」と書いてあったのはそういうことかと後で気づいたり…なかなか奥が深い。デジタルを使えば簡単にできそうな測定ですが、結果がわかるまでの様子が見える、こんなやり方も面白いものです。(手塚)

*1 物理の世界では「速度」と「速さ」を区別しますが、ややこしくなるので、ここでは違いを無視することにしました。

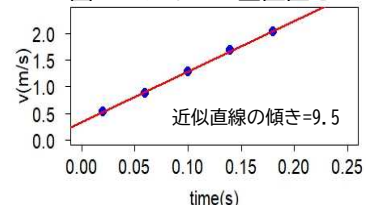
*2 交流記録タイマー 福島大学のホームページより
http://is2.sss.fukushima-u.ac.jp/fks-db/txt/60000.kiyou/kiyou_011/html/00018.html

*3 東日本では1秒間に50回、西日本は60回

図A: タイマー水平置き



図B: タイマー垂直置き



☆ 活動日誌

- 7月29日(月) 通信「なんとなくのひろば」第76号 発行
- 8月10日(土)～18日(日) 居場所夏休み
- 8月16日(金) 利用者要望により居場所開所
- 8月18日(日) ベリー会(第2回 学習会)
- 9月 3日(火) 理事会(第121回)
- 9月 9日(月) 茶話会(第138回)
- 9月29日(日) ベリー会(グループ相談会)
- 10月12日(土) 日光ボランティア・市民活動フェスタ 参加
- 10月18日(日) ベリー会(第3回 学習会)
- 10月26日(土) 川むしたんけん(行川 明神・中井橋 近く)
- 11月 5日(火) 理事会(第122回)



明神・中井橋から少し下流の行川です。「川むし」の事前調査で深いところが多くあることがわかり、ここでの開催は断念橋の上流側に移動しました。遠くに見えるのは猪倉山かな？

さくらそう関連 連絡会など

2024年度 日光市相談支援専門員連絡会

- 6月26日(水) 社会福祉法人すかい 試食会・見学会
- 7月24日(水) 訪問看護事業所開設紹介
- 8月28日(水) 社会福祉法人すぎなみき会 見学会
- 9月25日(水) 映画鑑賞「ぼけますから、よろしくお願いします」(ニコニコ本陣)

2024年度 日光市障がい者自立支援協議会

- 7月11日(木) 第4回 ケース・事例検討会議
- 8月 8日(木) 第5回 ケース・事例検討会議
- 9月12日(木) 第6回 ケース・事例検討会議(利用者訪問のため欠席)
- 10月10日(木) 第7回 ケース・事例検討会議

2024年度 県西圏域障害者相談支援事業者等連絡会

- 10月25日(金) 第2回 社会資源を知る 一般社団法人コブル(引きこもり支援) 代表理事講演

ボランティアフェスタ中ホール
ステージもにぎやかでした



「県立高等学校再編」に関心を・1

▼今年はじめ、「第三期県立高等学校再編計画」(高校再編)が県教委より発表され、新聞にも取り上げられました。県ホームページの「学校再編基本計画」には概要や資料が掲載されています。計画によれば日光市にある3校は3年後の2027年度にひとつの高校に統合されることになります。具体的には『今市高、今市工業高、日光明峰高を統合し、募集定員240人の総合学科高を設置』、工業系は『電子情報系に限定し、他の分野は鹿沼に新設される学科に移設する』という内容。

県内の他の地区でも、鹿沼市、栃木市、真岡市、那須塩原市が同様の対象となっています。また、宇都宮清陵高校は全日制過程が募集を停止し、『フレックス・ハイスクールへの再編』が行われます。さらにこの計画には県北・宇都宮の通信制・定時制(定通制)の再編が含まれています。戦後、地場産業の振興を目的として整備され、産業構造の変化とともに役割を変えながら存続してきた定通制ですが、今回の方針により、おおきな節目を迎えることになります。とくに気になる、通信制の今後について、本号では「日光地域からの通学」、次号では「通信教育で学ぶ学生への支援」について考え、提言につながることができたらと思います。

▼中学卒業後の進路について話し合うと、定時制・通信制の高校が話題になります。過去には宇都宮にある定通制高校、栃木市にあるフレックス高の学悠館など、進学希望の子どもたちや保護者も交えたミニ見学会を行ったこともありました。最近では学校法人が運営するネット高校や広域通信制などに進学する子ども目立つようになり、選択肢のひとつとして定着しています。いっぽうで、既存の県立定時制・通信制は学費の負担が少ないというメリットがあり、その点ではおすすめなので

すが、居場所からの進学は実現できていません。夜間定時制は平日午後5時から9時まで、部活動などに参加すればさらに1時間ほど学校で過ごし、それから下校することになります。通学手段や夜遅くなってからの帰宅、駅から家までの夜道など、少し考えただけでたくさん問題がありました。定時制はフレックス・ハイスクールに再編され昼間2部となるようですが、毎日の通学とその手段はやはりひとつの壁ではないかと思います。

▼通信制についてはどうでしょうか。通信制では自主学習が基本です。生徒は教科ごとに与えられた課題について学習し、レポートを提出。担当の先生はそれを添削し返答するというやり取りを行います。並行して、授業形式で行う面接指導(スクーリング)があります。科目ごとに決められた最低限の出席数を満たすことが単位取得の条件です。そのため、月に3~4回程度は通学することになります。JR日光線・鶴田駅近くの宇高通信制は日光や鹿沼から比較的通いやすい位置にありますが、3年後には「フレックス・ハイスクール」として宇都宮清陵高の敷地(作新学院大学の近く)に移動します。スクーリングを受けるためには、JR日光線から宇都宮駅まで行きLRTを乗り継ぐことになり、通学の負担は大きくなるのではと思います。

▼高校再編計画書の22ページには『通信制高校については、スクーリング等に通学しやすい環境となるよう、学校の配置を見直します。また、協力校の設置などについて研究を進めます』とあります。もし、日光市にできる新しい高校の中に「フレックス・ハイスクールの協力校」を加えることができれば、通信制で学習できる可能性が広がります。さらにオンライン授業や「学校外における学修の単位認定」(計画書6ページ)などを取り入れた、いままでの教室での学びを超えた通信制のアップデート版=「新・通信制」を構想してみたら、どんなアイデアが生まれるでしょうか。次号で考えてみたいと思います。(手塚)



私たちの活動目的：

日光市とその周辺地区に居住する子どもおよび青少年等に対して、学習や自立のための支援活動と地域への啓発活動を行い、社会に出た後も継続性のある、支援と学びの場を作り出します。

私たちの事業：

- ① 子どもたちの自主性および自立性を尊重した居場所の提供および学びの場の運営
- ② 子どもたち一人ひとりに対応した、新たなカリキュラムや学習内容の開発
- ③ インターネットなどのIT環境を活用した学びの支援
- ④ 教育についての相談や情報提供活動
- ⑤ 学校外で育つ青少年の自立に関する相談および就労を支援する活動
- ⑥ 自然環境の中での学びを作り出し、自然環境保全の大切さを啓発する活動
- ⑦ 障がいの理解および啓発に関する企画運営事業
- ⑧ 第二種社会福祉事業の相談支援事業経営

こんな本はいかが？ その 67

認知症についての絵本

今回は、子どもとともに考える認知症についての絵本を3冊紹介します。

◎「ばあばは、だいじょうぶ」

楠 章子・作 いしいつとむ・絵 2016年 童心社

作者の楠さんは、認知症のお母様の介護していて、自ら体験したことをもとにこの絵本を作られました。最後のページにご自分の体験を率直に語っています。人はみんな、親の認知症に驚き、頭ではわかっている、親の認知症を素直に受け止めることができなかつたりします。そして、どういふ振る舞いをしたらよいか、戸惑ってしまうことがあるかもしれません。大好きだったばあばが、「わすれてしまう」病気になってしまい、いろいろなことが起こります。絵本の最後で、つばき君がばあばに靴下をはかせてあげるシーンが描かれます。つばき君が、素直にばあばに寄り添い、ばあばもそれに応えるところに心が動かされます。

◎「ゆきちゃんは、ぼくのともだち！」

武田美穂 作・絵 2022年 童心社

病気で入院していたおばあちゃんが、おうちに帰ってきた。だけど、なんだかちょっと変なんだ。おばあちゃんは7歳になったり、5歳になったり…。けんた君は、変なおばあちゃんの時はずきちゃんと呼ぶことにしました。そしてけんた君はゆきちゃんと遊びました。でも、おばあちゃんはベッドで寝ていることが多くなりました…。

◎「じいちゃん、出発進行！」

藤川幸之助・作 天野勢津子・絵 2021年 クリエイトかもがわ

認知症になったじいちゃんと散歩をしていたら、横断歩道の真ん中でじいちゃんが動かなくなった。じいちゃんを横断歩道の外へ引っ張って行くとしたら、じいちゃんにごっつんこ！ぼくがじいちゃんの体の中に入った！じいちゃんの体に入ったぼくは、いろんな体験をします…。

この3冊は、認知症の症状のいろいろな一面を教えてくれています。案外大人よりも子どもの方がお年寄りに寄り添うことができるかもしれないと思います。図書館に置いてある絵本です。是非手に取って見てみませんか。(白井)

会員について

正会員：50
賛助会員：13
団体会員：3

入会金なし
年会費(一口)
正会員 3,000円
賛助会員
個人 5,000円、
団体 10,000円



私たちの活動は会費と寄付金でまかなわれています。応援をよろしくお願いいたします。会員は新たな事業の提案、会の事業の運営などに直接かかわることができます。積極的な参加をお願いします。

なんとなくのへや

青土社の「現代思想」、たまに特集号を買うくらいの付き合いだったから、本屋の雑誌コーナーから消えてしまってもあまり気にならなかった。ひと月ほど前に立ち寄った宇都宮の本屋で、背表紙の「長期主義」という文字にひかれて久しぶりに買って見た。長期主義(ちょうきしゅぎ) = Longtermism ■何のことかと「ウィキペディア」で調べたら『遠い未来に良い影響を与えることが、現代における重要な道徳的優先事項であるとする倫理観』とある。「イロコイ連邦の口承憲法」なども引用されているが「遠い未来」とはどうやら孫やひ孫といった話ではなく、数百年から数十万年よりもっと先の未来を想定しているらしい。これからの子どもたちのことを考えているようで、そう単純な話ではなさそうだ ■科学技術の発展にともなう世界の急速な変化をいふまえ、人類の資源をどの分野につき込むことが未来の人類の幸福に寄与するのだろうか。さまざまな情報を考慮し、期待値を数値化し最も効率的で価値のある対象を決める。長期主義者は、今に生きる私たちのやるべきことはトリアージのような作業であると言っているようにも感じる ■慈善事業への寄付より人類を守るための宇宙開発に投資を、福祉事業より人知すべてがインストールされたAIを全宇宙に広げるための研究に重点をというほとんどSFみだいな主張もある。やれやれ、アメリカ発の功利主義、プラグマティズムのなれの果てかと切り捨てたくもなるが、より深いところにまた違った考え、人間の存在についての問いかけが潜んでいるようにも思える。(T)